

## 投稿

《 故 乡 》  
《 故 郷 》

滚滚大江东流去, 历史长河转瞬间, 扶桑儿女多奇遇, 五十年昔话当年。松花江像历史的证人, 千百年间, 默默无语的记述着, 历史长河中的每一滴水, 每一片浪花。有事它也会生气; 也会发皮气; 甚至掀起巨大浪花。但是它心胸宽阔、纯补善良、豪不吝啬地养育着一代又一代它的儿女们。

据养父母说, 1945 年, 是一个多灾多难的秋天, 秋风夹着细雨; 不停的下着雨, 天空好象漏了一个大洞; 下湿了地; 下湿了天、天地混成一片。我身患重病、高烧不退, 周身体满了疥疮、我多么需要爸爸的臂膀将我抱起, 我多么想妈妈在喂我喝上一口热汤。可他们在哪儿... 他们去了哪儿... 没人回答我。我想他们大概去了天堂。



秋天的某一天, 一对中国父母把我抱回了家, 我 又有了生的希望。从此一滴滴药水; 一勺勺粥米, 使我发黄的脸上, 又出现了 红光。小小年令有人叫着我“小日本”。在并不富裕却非常幸福的家庭中, 我渐渐长大。在周围各色人的眼光中, 我在小小心灵中蒙上一层淡淡阴形, 我为自己愤愤不平我同他们有什么不同, 有在无言默默抗争。

养父母为我失去升职的机会, 无端而受到不必要审查、为我而下放农村、为我而接受种种不平。当我真正有能力, 想极报答他们救命之恩、养育大德的时候, 他们却

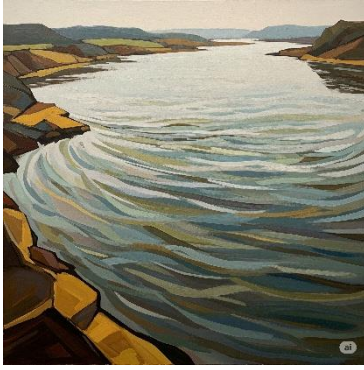
大河は東へと流れていく。歴史の大河も一瞬のこと。日本の子どもたちが多くの奇遇を得たのは、80 年前のことである。松花江は歴史の証人のように、何千年もの間、静かに無言で、歴史の大河の中の一滴一滴の水、一片一片の花を記している。時には怒り、癰癰を起こすこともあり、巨大な荒波をも巻き起こすが、その懐は広く、純粋で善良で、惜しみなく、一代また一代と、子どもたちを育み続けてきている。

養父母の話によれば、1945 年の秋は災難続きで、秋風の中、小ぬか雨が降り続いていた。空は大きな穴が空いたかのように地面を濡らし、天を濡らし、天と地が混ざり合っていた。私は重い病気に かかって高熱が続き、全身に疥癬が広がっていた。どれほど父の腕に抱き上げてもらいたかったか、どれほど母が温かいスープを一口飲ませてくれることを望んでいたか。けれども、二人がどこにいるのか... どこに行ったのか... 誰も答えてくれなかった。天国に行ってしまったのだろうか。

その秋のある日、中国の両親が私を抱いて家に連れて帰ってくれた。私は再び生きる希望を持った。それ以来、一滴ずつ薬を飲み、一さじずつ粥を食べることで、私の黄色い顔には赤みが戻ってきた。小さい頃は私のことを「小日本」と呼ぶ人もいた。決して裕福ではないがとても幸せな家庭の中で、私はゆっくと成長していった。ただ、周囲の人々の様々な視線の中で、私の小さな心には薄い陰がかかっていた。私は自分が他の子と何が違うのかと不満を抱き、無言で抵抗していた。

离我而去。墓碑上只留下他们普通的姓名。

1992 年 7 月  
我全家回到了东瀛，开始了幸福而艰难的新生。



養父母は私のために 昇進の機会を 失い、不  
要な身元の取り調べを受け、農村に下放され、様々  
な不平等に耐えなければならなかった。私が本当  
に能力を持つようになって、両親に 命の恩返しを  
したいと思った時には、彼らは私の元を離れてしま  
っていた。墓石には彼らのありふれた名前だけが残  
された。1992 年 7 月、私たち家族は東瀛、すな  
わち日本に戻り、辛くも幸せな新しい生活を始め  
たのだった。

(N・G)